

楽器楽弓の管理についての注意事項説明書

ご購入後、楽器や弓を大切に扱っていただき、末長く良い状態でご使用いただくために、下記の事項について説明いたします。

記

1. 季節的な乾燥による割れ、又は温度・湿度調整機器の過度な使用による破損の可能性

基本的に木材は乾燥することにより自然発生的に割れる場合があります。楽器・楽弓も木材で製作されていますので、冬季に乾燥する日本の気候風土、さらに暖房機器を使用する環境においては板や弓のスティックに乾燥割れを生じさせることがあります。弓に使用する馬毛も乾燥時期には縮みやすく毛が張った状態を作り出すため、スティックに過度なテンションが加わることで折れることがあります。適正な湿度を保つために加湿器などを必要に応じて使用するなどの対策が必要です。

2. 楽器、楽弓に適さない環境下での保管又は使用の結果による破損の可能性

楽器・楽弓は高温多湿に弱く、楽器の各部の接着に使用する膠(ニカワ)は高温多湿で融解するという特性があります。このため、温度や湿度の高い場所での保管は、楽器の各部を接着している部分が剥がれる、ネックがはずれる、指板の角度が下方に落ちる、新作楽器においては、表面に塗ってあるニスが溶け、ケース等や駒擦れによる痕が着く場合があります。屋外での使用においては、日光など紫外線によるニスの変色、雨天時には水に濡れて木の変形等が起こることがあります。梅雨時や夏季などの湿度が高い場合には、ケース内に乾燥剤や湿度調整剤を入れたり、エアコンや除湿機で温度や湿度を調整したりすることを推奨しています。

3. 自身の力の入れ過ぎなど、過度な圧力が加わったことによる破損の可能性

楽弓の場合、力を入れ過ぎて弾く、毛を張り過ぎて弾くなどで弓が曲がる、変形してしまう、場合によっては折れてしまうことがあります。また演奏後、毛を緩めずに張ったままの状態にしておくと反りがなくなり反り直し修理が必要になるなど、弓の適正な状態や価値を損なう恐れがあります。弾き終えたら弓の毛は必ず緩め、毛替えは適宜行いましょう。毛替えの時にスティックの曲がりなども点検することができます。

4. 自己又は第三者の不注意によって起こされた破損の可能性

夏場に限らず車中に楽器を不用意に置いた後、車内の温度が高くなった場合には、ニス表面に気泡ができ、場合によっては膠(ニカワ)が融解し楽器がぼらぼらになることがあります。また合同練習等の際の休憩中など、第三者の不注意による楽器の転倒、踏み付けなどで破損する恐れがありますので、都度ケースに片付けることをおすすめします。車中への楽器の放置は盗難の恐れも含め、温度上昇など危険があることを知っておかなければなりません。

5. 経年劣化などの長年の蓄積で起こる自然発生的な破損の可能性

長い期間使用されずそのままの状態で置かれた場合、ネックアングルの変化、虫喰いなど、高額な修理を要するもしくは楽器の価値を損なう状態になる場合があります。なお、楽弓について、自然発生的に折れたと思われる場合も、急激な湿度の変化や、毛の縮みによる過度の圧力が原因であったり、あるいは弓の先端部分を不用意にぶつけるなどしたりしたこと等、これらの小さな事故の蓄積や、その時に起因する傷などがあったことに気づかずに時間を経てから折れてしまうということもあり得ます。使用の有無に関わらず、定期的な点検を受けることをおすすめします。

6. 地震又は地震による津波・火災などの甚大な自然災害が発生した場合や政治的な世界情勢に伴う国家間の戦争・紛争による破損・損失の可能性と動産総合保険(損害保険)について

これらの国家や地球規模を原因とする破損や損失は、特例附帯条件がある場合を除き損害保険の対象となり得ないと考えられます。同様に、故意による破損、自身による修理施工による破損、自然発生的な破損、経年劣化も保険の適用外となります。ただし、自身や第三者の過失による破損、盗難などは損害保険でカバーすることができますので、万一の事故等に備えて動産総合保険(損害保険)への加入を推奨します。また、地震に備え、必ずケースに入れて楽器を保管しましょう。

【記載の 6 事項ほか、不明点や楽器の具体的管理方法について、随時ご質問に対応しております】

株式会社ヴィルトゥオーゾ
代表取締役 杉田 直樹

以上について貴店より説明を受け理解いたしました。

年 月 日

(自署)